

## 目的

### 経営者・管理職による取組を強化する

- ・ 週労働時間60時間以上の就労者割合は、依然として高水準。(男性12.9%、女性2.8% H26「労働力調査」)
- ・ 多くの企業は残業をしないことをマイナスに捉えていないが、社員は長時間労働の人ほどポジティブな評価を受けやすいという印象が未だに根強い。(H25年度「ワーク・ライフ・バランスに関する個人・企業調査」)
- 経営者・管理職による積極的な「社内啓発(H26)」と、質の高い「職場マネジメント(H27)」が不可欠。
- 経営者・管理職に実践を促すと共に、その取組を支援するため、関係団体と連携して

「啓発ツール(事例集)」+「トップセミナー」を実施。



## 事業の概要

### 職場マネジメントの調査研究

- 趣旨
  - ・ 経営者や管理職による、職場マネジメントの好事例を調査研究  
⇒業務進捗状況を管理する手法、多能化等に向けた人材育成、部下のWLBに配慮しつつ成果上げた管理職を評価する仕組み など
- 内容
  - ・ 関係団体からの紹介 + 郵送調査 → 訪問調査(約15社)  
…【同行者】調査企画委員、関係団体担当者等
  - ・ 好事例から要因を分析し、手法・仕組みのポイントを抽出
  - ・ 主に経営者や管理職、人事担当者向けのポイント・事例集を作成

周知・提供

地方自治体等

教材として  
使用

トップセミナー 経団連・日商共催

経営者や管理職を対象としたセミナーを経団連・日商と共催。

掲載・広報

ホームページ

経営者・管理職による **働き方の見直し** を支援し、**仕事と生活の調和** の **更なる推進** を図る。